

ながえの里だより

【基本理念】 私たちは、すべての人に等しく 仁愛の精神を持って接し、

心の通う医療の実践に努めます。

【基本方針】 責任：生命の尊厳を第一の課題として重んじ責任をもって行動する

安全：すべての行為に対して細心の注意を払い安全の確保に努める

協調：チーム医療に徹し互いに協調しその実をあげることに努める

奉仕：すべての患者さまを等しく仁愛の精神を持って接し医療を通じて社会に奉仕する

撮影地 総領町
撮影者 伊藤紀子

年頭にあたって

事務長 西村 雄二

皆さん、新年あけましておめでとうございます。今年で庄原同仁病院も開設以来、22年目の春を迎えます。これまで病院を支えていたいた全ての人々に感謝いたします。世界同時不況で日本もまさにその渦の中で2009年の新春を迎えました。経済は不況ですが、人の心まで不況に押しつぶされないよう皆の手と手を繋ぎ、個人個人の心を磨き、みんなの意見や思いをつないで多くの困難に立ち向かっていきましょう。



演芸会でのハーモニカの独奏

当院は患者様あっての病院であります。病院はまさに当院の基本理念そのものです。

すべての人に仁愛の精神で接する事が出来れば、その思いは患者様に伝わり、地域の皆様に信頼される病院になる事ができます。職員全員の大きな輪で一丸となって頑張りましょう。又、今年6月に病院機能評価受審に当たり、多くの会議や書類作成で通常業務以外にも大切な時間を費やして下さることに対して、ありがたい気持ちで一杯です。2009年、みんなの輪(和)で庄原同仁病院を支えて行きましょう。

電動式昇降ベッドを購入

理学療法士 西村 修

この度、理学療法科では、電動式昇降ベッドを購入しました。これは、高さを調節する機能のあるベッドです。私は、技術講習に参加し、治療手技を学んでいるのですが、今までリハビリ室にあったのは高さの調節の出来ない座位練習用のベッドのみでした。学ぶ手技の中には、高さ調節を行なわないと施術者に負担のかかるものがあります。特に、長時間中腰の姿勢をとっていると、腰部が痛くなるケースがあります。適切な高さを保ち、患者様の体に適度な力を伝えるという点でこの昇降ベッドは有用です。今後はこの電動式昇降ベッドを用いて術者の腰も守りながら、手技を充実させ、患者様の「楽になった」の声を多く聞けるよう、日々努めてまいります。



通常は高さ45cmです。見た感じは幅広のソファーに見えますが……



足元のフットスイッチによりベッドを上下できます。



最高85cmまで上昇し、常に最適の高さに調整してリハビリが行えます。

演芸会

アクティビティ委員会

昨年11月に初めて演芸会を開催いたしました。各部署の皆様の協力を得て盛大のものとなり、患者様やご家族の方も大変喜んで下さいました。

歌や踊り、ハーモニカ演奏、漫才、どじょうすくいと楽しい演目ばかり。衣装も華やかで、目でよし、耳でよしのものばかりでした。たくさんの笑顔と手拍子であふれた時間はあっという間でした。後日、患者様から「またやってほしい」「楽しかった」等の声をいただき、大変嬉しく思いました。また、協力してくださった皆様のおかげで盛り上げることができたのだと思います。ありがとうございました。



栄養課 下岡宣子

患者様もよく知っておられる「壺坂情話」を選びました。中には歌って下さる方も沢山おられ、一緒に楽しむ事ができました。



2病棟 梅田笑子

2病棟の出し物として、氷川きよしの「きよしのズンドコ節」の曲に合わせて踊りました。手ぬぐい、エプロン、もんぺという母さん姿でとても緊張しました。患者様の沢山の笑顔で私達も元気をいただきました。

1病棟 平岡順子
1病棟では演芸会で“陽はまた昇る”を歌って踊りました。日々多忙な中で出場スタッフ全員が揃って練習する事はできませんでしたが、合間にみつけて連絡をとりあいながら練習や準備をしました。

患者様の笑顔を楽しみに、恥ずかしさを押し隠し皆で元気一杯に歌って踊り、結果的には自分達も楽しみ、患者様の喜んでくださった笑顔と涙に、やつて良かった・・・と元気づけられました。



上記の出し物以外にも、事務長のハーモニカ独奏や「錢ばい＆どじょうすくいの共演」今はやりのお笑いコンビ「髭男爵風漫才」など、たくさんの出し物で会場は大変盛り上りました。最後は患者様がレクリエーションの時間に作製した、みこしが登場しフィナーレを飾りました。

たくさんのボランティア来訪



庄原市老人連 ～舞踊班～

昨日、12月12日金曜日、庄原市老人連舞踊班による踊りの慰問がありました。前日から心待ちにされていた患者様は、開演時間が待ちきれない状態。素晴らしい踊りと衣装に拍手や声援の嵐。歓喜の余り涙を流される患者様もいらっしゃる程でした。患者様と共に私達も心温まる楽しい時間を過ごさせて頂き感謝で一杯の日となりました。

岩見典子



クリスマス会

～アライアンス教会～

12月24日にアライアンス教会さんによるクリスマス会が行われました。アライアンス教会さんは毎年当院を訪れてくださっていますが、今年も、歌やゲームなどで患者様を和ませてくださいました。

西村美智子



北保育所

～月組の園児～

12月6日に、北保育所の月組さんが「うそべえ極楽へ行く」の劇と、踊りを披露しに来て下さいました。 和田理絵

カットボランティア



12月15日、患者様の為今年も、カットボランティアに「カットスタジオ田中」のスタッフの皆様が来られました。髪をカットして頂いた患者様は、これで気持ち

良く今年もお正月が迎えられると大変喜ばれています。「カットスタジオ田中」のスタッフの皆様、いつもありがとうございます。

黒光浩二

新職員紹介



2009年1月7日から2病棟に配属になり働いております、湯谷久美子です。仕事は思った以上にハードで、元気を上げたい患者様達に癒されながら働き、職場の皆様には迷惑をかけながらも頑張っております。まだまだ不慣れではありますがご指導の方よろしくお願ひ致します。



患者様作品

お正月を迎える患者様の今年の願いを絵馬に、厄除けの獅子舞をみんなで作りました。



新聞委員のつぶやき ～毎日の日常生活で～ 伊達信介

ケアプラン作成？

先日1月11、12日の2日間、平成20年度 広島県介護支援専門員研修に行ってきました。で早速、次回3日目の課題として、ビデオ事例からの居宅サービス計画（ケアプラン）の作成をすることとなりました。

「え～！いきなりですかあ？」って感じでした。特に課題分析票に至っては、自分にとつて訳の分からぬ様子ばかり。その枚数の多さに、目まいと頭痛がしそうになりました。これも日頃から、病棟内のケアマネジャーさんたちが、何を、どのように業務を行っているのか関心を深く持っていたいなかった自分が反省すべきことであり、改めてケアマネジャーの仕事は大変なんだと思い知らされました。

自分もここで落ちこぼれていくわけにはいきません。まして投げ出すことはできませんよね。

今後は3月までの研修を経て、経験を多く積むようにして、患者さん、その家族の方々のために少しでも、よりよいケアプラン作りができるようになりたいと思います。



表紙の花

セツブンソウは、まだ雪のある節分頃から花開く



セツブンソウ

く、春を告げる花です。草刈りをしないと咲かない花です。

自然と人間が一体となって咲かせる花であり、これから自然と人間の関係を象徴する花です。